

回覧

# 宮崎大学発 都農町かわら版

令和8年2月号



宮大が都農町寄附講座等  
で行っている活動や情報を、  
定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを  
目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として  
単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

## 2/10 オーラルヒストリー「混乱から復興へ ～宮崎県都農町口蹄疫災害から15年～」を出版。

2023年10月より、佐伯先生が主に町内の口蹄疫関係者にそれぞれの立場での  
当時を語っていただく聞き取りをはじめ、その後の町の復興の歩みについての  
調査を進めてきました。研究成果として口蹄疫の発生から復興の軌跡を口述歴史  
の手法を用いて書籍にまとめ、このたび、鉦脈社より「みやざき文庫シリー  
ズ162」として出版いたしました。

都農町の100年を越える歴史の中でも最も新しい15年でありながら、しかし語  
り継ぐ人がいなければ忘れられていく町の歴史の一部を、町民の皆さまが改め  
て知り、若い世代に語り継いでいくための貴重な記録です。町民図書館にも配  
架、役場内各課、小中学校などに配布しています。書店、オンライン書店で購  
入可能です。町の皆様に読んでいただくことで、都農町のまちづくりの活力に  
することが本書の一番の目的です。ぜひ、手に取って町のこれまでの歩みを振  
り返っていただければ幸いです。今後の教育現場などでの活用にも期待します。

【著者より】

2年強かかりましたが、「混乱から復興へ」を出版することができました。町の皆  
様には聞き取りなどを通して本当にお世話になりました。ありがとうございました。  
口蹄疫という「災害」から町を立て直すために、住民一丸となって取り組んだこと  
が話をうかがってよく分かりました。その全容をどこまで表現できたか、と今も自  
問自答しています。今後も町の発展をお祈りしています。佐伯浩之、瀬川直樹

## 2/16 卒業研究・活動報告発表会を開催

地域学部

年に一度の寄附講座の卒業研究・活動を町の皆様にご報告  
する発表会を開催し、町長はじめ役場職員の方々、町議員の  
皆様や関わってくださった町の方など約30名の方々にご参加  
いただきました。地域おこし協力隊についての卒業研究では、  
研究結果としてスポーツ選手のセカンドキャリアと定住の関  
係についての分析に基づく町への提案がありました。その他、  
今年度のPBL、医学部講座、チャレンジ企画などの取組みの  
報告をしました。都農町をフィールドに様々な企画の実践に  
チャレンジをした学生が、失敗から学ぶ姿や学生ならではの  
風を町に持ち込んでいた様子が印象的でした。

また、オーラルヒストリーの出版についての佐伯先生から  
の発表報告では、書籍内容の紹介がありました。



# 1/25 藤見地区恒例のそば打ち試食会に 地域学部・医学部学生が参加

今年も藤見地区自治会長の黒木様にお声がけを頂き、そば打ち試食会に地域学部PBL1, 2年生、医学部LIC、留学生と教職員あわせて7名が参加しました。そば粉生地を伸ばして切る作業を学生全員が体験。初めは慣れない手つきで時間もかかっていましたが、熟練の地区の方々から教わりながら次第にコツをつかみ、一人あたり30食分ほど作りました。留学生のイェルネイさん（スロベニア出身）には、そば打ちを見るのも触るのも初めてのことがばかり。おにぎり作りも体験し、皆様と美味しいお蕎麦をいただきながら交流しました。学生たちにとって、地域の方々との他愛無い話や共同作業をして地区の雰囲気を感じることが、大変貴重な経験でした。藤見地区の皆様、ありがとうございました。ご馳走様でした！



## 2/19 つのまるケアミーティング

2040年に向けて85歳以上の人口が増え続けると見込まれています。更に医療と介護の連携が重要になっていく中、今後どんな生活になるのか、どんな取り組みが必要になるのかを考える回となりました。14年後の自分の年齢を考えると、今よりもっと進化したロボットやAIを導入したい、バリバリ仕事をして健康に暮らしたい、という具体的な想像ができたようです。

今回は初参加者を3名お迎えし、日向市から来られた方もいらして自己紹介からとても賑やかでした。新たな仲間を歓迎します！



### コラム つのまるケア講座 日常の一コマ by坂口先生

スギやヒノキの花粉症の時期がやってきました。花粉症は英語で Hay fever (ヘイ・フィーバー) というそうです。ネイティブ的には発音が違うのですが、Hey fever (やあ、熱) と似ていて、なんだかフランクな感じですね。私を含め花粉症を持っている人からするとフランクな関係にはなりたくないですが。。外でもマスクが手放せない季節です (涙)。



## ☆☆今月の研修医紹介☆☆ 町立病院にて 濱砂 百華 (はますなももか) 先生 2/2~3/31研修

宮崎市出身 趣味：楽器演奏 (休日はオーケストラの  
ファゴット奏者です♪)



2、3月の間、都農で研修しています。病院のスタッフの方々も患者さんたちもあたたかい雰囲気でもっと楽しく学ばせていただけることに感謝しております！残りの研修期間もよろしくお願いいたします！

## 2/16 LIC内山さんが活動発表をしました。

2/16の寄附講座発表会では、2月で長期実習を終える内山さんが活動報告を行いました。外来や入院患者さんの診療、退院後の生活への心配りなど、医療現場での実習に12週間にわたり取り組んだ内容を発表しました。患者さんに寄り添うために生活の実態を知ろうと努める中で、医師として「どこまで踏み込むべきなのか」に悩んだというエピソードが印象的でした。

地域医療の実践に加え、さまざまなイベントにも積極的に参加しました。都農町での生活を楽しみながら、自ら動き悩み、学んだ12週間は、今後の人生の糧となる期間になったはずです。関わってくださった皆様に感謝申し上げます。



## 2/11 都農マラソンに町立病院から参加しました。

尾鈴マラソンに今年も参加しました。町立病院の医師・看護師に加え、今は町外に勤務する総合診療科の医師や研修医も参加。心配された雨もあがり、走るには少し暑いぐらいの陽気に包まれながらも無事に完走しました。ラッキー賞も当たりました～！



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構  
発行日：2026年2月26日 (原則毎月発行)  
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構  
問い合わせ：0983-32-1270 (つの未来財団)